

渡嘉敷来夢 Age 19 バスケット・JX 191cm 技術まだまだ伸びる

191cmの身長と、その体に似合わぬスピードあふれる動き。女子バスケットボールWリーグのJXサンフラワーズに所属する渡嘉敷来夢(とかしき・らむ、19)は将来、日本女子バスケット界を背負って立つ逸材といわれる。高さを生かしたリバウンドはもちろん、遠い位置からシュートを決める技術も持ち合わせる。「今までないくらい緊張した」という昨年10月のWリーグデビュー戦でも持ち味を生かし、攻守両面で活躍。その後、チーム最多得点を挙げる試合もあり、ルーキーながら既にチームの中心ともいえる働きをみせる。「190cmでこれだけ動ける選手は見たことがない」(JXの内海



知秀ヘッドコーチ)。これまでの常識では計り知れない可能性を秘める。球技好きがバスケットを始めたのは中学から。仲の良い友達に影響を受けて軽い気持ちでバスケット部へ。「特にならなりたいとは思わなかった」が、周りがそれを許さなかった。上背に注目され、埼玉県選抜の選手に。そして名門、愛知・桜花学園高から入学の誘いが来る。「この高校に入ることを決めてから、一生懸命やってみようと思うようになった」。周囲の期待に合わせ本人の意識も変わっていった。こうなると進化も早い。1年ごとに課題を設定し、プレーの幅を広げた。左足首を疲労骨折しながらも、チームを引っ張る立場として試合に出て全国優勝。「高校生同士では敵無し」(内海ヘッドコーチ)になるまで成長した。将来の海外リーグ挑戦や2012年ロンドン五輪出場など、期待はますます高まる。それでも「まだ自信も持てないし、そこまでは思っていない」。チーム内で着実に成長し、実績を残すことが、今の自分に最も必要だと考えている。幸いチームには日本代表選手が数多く在籍する。「先輩たちの技を盗んで、誰からも頼られるような選手になりたい」。焦らず一歩一歩階段を上れば、自然と周りの期待に応えられる選手になるに違いない。

ロンドン五輪でメダルを目指す日本女子トライアスロン界に、成長著しい新星がいる。佐藤優香、18歳。女子のトップ選手がそろそろトーションパートナーズ・チームケンズ(東京都西東京市)に所属する逸材は昨年8月のユース五輪で金メダルを獲得、才能が開き始めた。身長 171cm。手足が長く、ランニングのスプリント勝負に強い欧米人にも負けないパワーを秘める。加えて「負けることが大嫌いで、駆け引きが好き」という強

「駆け引き大好き」強心臓

気な性格。「トライアスロンは我慢比べの競技」と言い切り、大舞台でも萎縮しない心臓を備える。現在の立ち位置は「日本で7番目」。ロンドン五輪での日本の出場枠は「3」になるのみ、まだ候補の域を出ていない。ただ、ユース五輪で勝ってからは「見える世界が変わった」。チームケンズの監督で日本代表チームも率いる飯島健二郎氏に「もう先輩の後

ろ姿を見ません。常に勝つという意識を持ちます」と宣言した。小学3年時、初めて出場した地元の子ども向け大会で優勝。中学卒業前に飯島監督から誘いを受けてチームケンズ入りし、本格的に競技を始めた。1日8時間にも及ぶ練習に没頭。世界で戦うための地力を積み上げていった。昨年は世界選手権シリーズに参戦。最高38位だったが、ユース五



10代

新しい年に10代のスポーツ選手が大きく羽ばたこうとしている。伝統的に若手が活躍する競技はもちろん、これまで10代ではなかなか頭角を現せなかった競技でも若い芽がしっかりと伸びてきている。今はホープという立場でも、やがてはエース格として、日の丸を胸に世界の舞台上で活躍するだろう選手たちを紹介する。

笑顔満開はじける舞

村上佳菜子

Age 16
フィギュア・中京大中京高

「佳菜子、16歳。若くて、元気でピチピチで、将来楽しみだと思って見守ってくださいね」山田満知子コーチに今季、こんなメッセージとともにシニアに送り出された村上佳菜子。日本人最高となるグランプリ(GP)ファイナルの表彰台(3位)まで駆け上がってしまった。同じく世界ジュニア優勝を引っ提げてGPシリーズに参戦、1年目でファイナルに優勝したバンクーバー五輪金・銀メダリストの金妍児(キム・ヨナ、韓国)、浅田真央(中京大)に次ぐ快進撃だ。2006年トリノ五輪金メダリストの荒川静香、安藤美姫(トヨタ自動車)、浅田先輩がつくってきた空前絶後のフィギュアブームの恩恵をたっぷり受けている。小さいころ一緒に練習したのは「憧れの『お姉さん』の真央ちゃん」。小学校時代からシニアと呼ばれ、荒川や安藤と共演すると「人を楽しませるやり方とか勉強していた」。物おじせず、試合会場の空気をも変えてしまう「佳菜子スマイル」でどこでも溶け込んでしまう。



佐藤優香 Age 18
トライアスロン・チームケンズ

輪の優勝が好循環を招いた。「自信が付き、先輩をライバルとして見られるようになった」。自らの取りえを考え、研磨の方法を模索。「休日遊ぶと監督に見つかりそうで怖い」というトライアスロン一色の毎日がいまは楽しい。近くの目標は「ロンドンの表彰台」。その先に「16年の五輪での金メダル」を見据えている。飯島監督は「一皮むけるには精神面の鍛錬が必要」。トップ選手へと駆け上がる道には、自分との果てしない我慢比べが待っている。

謹賀新年 平成23年

社取締役 芳賀義雄 日本製紙株式会社	社取締役 大越昭夫 ビジョン株式会社	社取締役 藍澤基彌 藍澤證券株式会社	社取締役 平沼泰三 ニチロ工業株式会社	社取締役 東川清 株式会社 アイティフォー	社取締役 高橋靖 大日精化工業株式会社	社取締役 井上舜三 戸田建設株式会社	社取締役 川口恭史 大陽日酸株式会社	社取締役 大池弘一 日油株式会社	会取締役 中嶋洋平 日油株式会社
社取締役 前田伸 日本電波塔株式会社	取締役 細矢和義 株式会社 協和メーカーズ	会取締役 中村守利 株式会社 プレシース	社取締役 齋藤徹 株式会社 三松	社取締役 近藤好紀 株式会社 栄光	代表 西川誠一 ニシカワグループ	社取締役 富高正信 総合地所株式会社	CEO クリストファー・テラー 株式会社 南州ソフトウェア	取締役 田實行利 株式会社 南州電設	社取締役 加藤憲司 大成株式会社
日経BP社 東京都港区白金一の十七の三	日本経済新聞出版社 東京都千代田区大手町一三の六	株式会社 日本経済社	社取締役 丹羽信一 株式会社 日本経済広告社	社取締役 盛庄吉 慶昌堂印刷株式会社	社取締役 竹之上藏造 株式会社 第一製版	社取締役 手島友一郎 西部日本エンタープライズ株式会社	社取締役 桑原常泰 株式会社 東急エージェンシー	社取締役 清水與二 株式会社 アサツーディ・ケイ	社代表取締役 高嶋達佳 株式会社 電通